

令和4年第1回嬉野市議会定例会会議録

招 集 年 月 日	令和4年3月1日					
招 集 場 所	嬉野市議会議場					
開 閉 会 日 時 及 び 宣 告	開会	令和4年3月1日 午前10時00分			議 長 辻 浩 一	
	散会	令和4年3月1日 午前10時37分			議 長 辻 浩 一	
応（不応）招 議員及び出席 並びに欠席議員	議席 番号	氏 名	出欠	議席 番号	氏 名	出欠
	1番	水 山 洋 輔	出	9番	宮 崎 良 平	出
	2番	大 串 友 則	出	10番	川 内 聖 二	出
	3番	古 川 英 子	出	11番	増 田 朝 子	出
	4番	阿 部 愛 子	出	12番	森 田 明 彦	出
	5番	山 口 卓 也	出	13番	芦 塚 典 子	出
	6番	諸 上 栄 大	出	14番	田 中 政 司	出
	7番	諸 井 義 人	出	15番	梶 原 睦 也	出
	8番	山 口 虎 太 郎	出	16番	辻 浩 一	出

地方自治法 第121条の規定 により説明の ため議会に出席 した者の職氏名	市長	村上 大 祐	健康づくり課長	
	副市長	池田 英 信	統括保健師	
	教育長	杉崎 士 郎	子育て未来課長	
	行政経営部長		福祉課長	
	総合戦略推進部長	三根 竹 久	農業政策課長兼 農業委員会事務局長	
	市民福祉部長	筒井 八重美	茶業振興課長	
	産業振興部長	中村 はるみ	観光商工課長	
	建設部長	井上 元 昭	農林整備課長	
	教育部長	大久保 敏 郎	建設課長	
	観光戦略統括監	近藤 光 則	新幹線・まちづくり課長	
	総務・防災課長兼 選挙管理委員会事務局長	太田 長 寿	環境下水道課長	
	財政課長	山口 貴 行	教育総務課長	
	税務課長		学校教育課長	
	企画政策課長	小池 和 彦	会計管理者兼 会計課長	
	広報・広聴課長		監査委員事務局長	
	文化・スポーツ振興課長		代表監査委員	
市民課長				
本会議に職務 のため出席した 者の職氏名	議会事務局長	白石 伸 之		

## 令和4年第1回嬉野市議会定例会議事日程

令和4年3月1日（火）

本会議第1日目

午前10時 開 議

- |       |  |
|-------|--|
| 日程第1  | 会議録署名議員の指名   |
| 日程第2  | 会期の決定  |
| 日程第3  | 諸般の報告  |
|       | 報告第1号 議決事件に該当しない契約の報告について                            |
| 日程第4  | 議案第5号 嬉野市道の駅等の設置及び管理に関する条例について                       |
| 日程第5  | 議案第6号 嬉野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について                |
| 日程第6  | 議案第7号 嬉野市税条例の一部を改正する条例について                           |
| 日程第7  | 議案第8号 嬉野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について                     |
| 日程第8  | 議案第9号 嬉野市営住宅条例の一部を改正する条例について                         |
| 日程第9  | 議案第10号 令和3年度嬉野市一般会計補正予算（第15号）                        |
| 日程第10 | 議案第11号 令和3年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）                   |
| 日程第11 | 議案第12号 令和3年度嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）                  |
| 日程第12 | 議案第13号 令和3年度嬉野市農業集落排水特別会計補正予算（第3号）                   |
| 日程第13 | 議案第14号 令和3年度嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計補正予算（第2号）      |
| 日程第14 | 議案第15号 令和3年度嬉野市浄化槽特別会計補正予算（第2号）                      |
| 日程第15 | 議案第16号 令和3年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第八土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）    |
| 日程第16 | 議案第17号 令和3年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第3号） |
| 日程第17 | 議案第18号 令和4年度嬉野市一般会計予算                                |
| 日程第18 | 議案第19号 令和4年度嬉野市国民健康保険特別会計予算                          |
| 日程第19 | 議案第20号 令和4年度嬉野市後期高齢者医療特別会計予算                         |
| 日程第20 | 議案第21号 令和4年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計予算        |
| 日程第21 | 議案第22号 令和4年度嬉野市下水道事業会計予算                             |
| 日程第22 | 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について                               |
| 日程第23 | 諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について                               |
| 日程第24 | 発議第1号 議会活性化特別委員会の設置及び付託について                          |

日程第25 発議第2号 議会広報編集特別委員会の設置及び付託について

日程第26 嬉野市選挙管理委員及び補充員の選挙について

---

午前10時 開会

○議長（辻 浩一君）

皆さんおはようございます。改選後初の定例会となります。どうか皆様方、最後まで慎重審議をよろしくお願い申し上げます。

本日は全員出席であります。定足数に達しておりますので、ただいまから令和4年第1回嬉野市議会定例会を開催いたします。

本定例会の議会運営につきましては、2月25日に議会運営委員会が開催されました。その結果について報告を求めます。芦塚典子議会運営委員長。

○議会運営委員長（芦塚典子君）

皆さんおはようございます。先日、2月25日に議会運営委員会を開催いたしまして、今定例会の議会運営に関し協議をいたしました。

ただいまから会期日程（案）について御報告いたします。

お手元に配付の令和4年第1回嬉野市議会定例会会期日程（案）を御覧ください。

会期は、本日3月1日から18日までの18日間であります。

3月1日、開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、議案一括上程、提案理由説明、本会議終了後に議案の詳細説明、合同常任委員会を開催いたします。

3月2日、3日が常任委員会です。

3月4日、追加議案上程並びに提案理由説明。本会議終了後、追加議案の詳細説明、合同常任委員会を開催いたします。

3月9日から11日まで及び14日、議案審議であります。

3月15日から17日まで一般質問。今定例会には15名の議員から通告があつておりますので、15日5名、16日5名、17日5名の配分で、開議時刻を9時30分として行いたいと思います。

3月18日、討論・採決、閉会ということで、以上、今定例会の会期日程（案）について御報告いたします。

○議長（辻 浩一君）

議会運営につきましては、ただいま議会運営委員長から報告のあつたとおりであります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。これで議会運営についての報告を終わります。

それでは、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

日程第1．本定例会の会議録署名議員の指名を行います。

嬉野市議会会議規則第85条の規定により、会議録署名人に議席番号4番阿部愛子議員、議席番号5番山口卓也議員、議席番号6番諸上栄大議員を指名いたします。

日程第2．嬉野市議会会議規則第4条の規定により、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から3月18日までの18日間にしたいと思いません。異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。本定例会の会期は本日から3月18日までの18日間に決定をいたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付しております会期日程のとおりであります。御了承ください。

日程第3．諸般の報告を行います。

本日まで提出された令和4年陳情第1号及び第2号につきましては、お手元に配付しております陳情文書表のとおりであります。

次に、報告第1号 議決事件に該当しない契約の報告についてにつきましてはお手元に配付をしておりますので、それをもって報告といたします。

これで諸般の報告を終わります。

日程第4．議案第5号 嬉野市道の駅等の設置及び管理に関する条例についてから日程第21．議案第22号 令和4年度嬉野市下水道事業会計予算までの18件の議案並びに日程第22．諮問第1号及び日程第23．諮問第2号の人権擁護委員候補者の推薦についての2件の諮問、計20件を一括して議題といたします。

朗読を省略いたしまして、提案理由の説明を求めます。市長。

#### ○市長（村上大祐君）

皆さん、おはようございます。本日、令和4年第1回嬉野市議会定例会の開会に当たり、議員皆様の日頃の御活動、御活躍に敬意を表しますとともに、本市行政に対しての御尽力、御支援、御協力に厚く御礼を申し上げます。

去る1月23日に投開票が行われました嬉野市長選挙において、再選の榮に浴することがかない、引き続き市政を担わせていただくこととなりました。今後とも市民の皆様の御期待にお応えするため日々真摯に努力を重ねてまいる所存でございます。

それでは、本定例会開会に当たり、所信表明と本年度の基本方針を申し述べさせていただきます。

選挙戦においては、「守る。輝く。変わる」を基本理念とし、そしてスローガンに掲げて政策を訴えてまいりました。「守る」とは、自然災害や交通事故、新型コロナウイルスの脅

威から市民を守る施策。「輝く」とは、女性活躍推進や学校教育の振興、高齢者の生きがいづくりを通じて、一人一人が輝くまちを目指すこと。「変わる」は、日進月歩のデジタル技術など、大きな変革期を踏まえた市の業務改革や、市民サービスの充実といった分野ごとに、具体的な政策展開を行ってまいります。

新型コロナウイルスについては、嬉野市では年初より感染が急速に拡大し、複数の感染者集団（クラスター）が確認されるなど、僅か2か月で新規感染者は600人超に上りました。現在は減少傾向には転じたものの、佐賀県においては、まん延防止等重点措置を継続しており、依然として予断を許さない状況であります。

感染予防を呼びかけるとともに、医療機関とも連携して3回目のワクチン接種も進めてまいります。なお、嬉野市では、2月28日現在で18歳以上の市民のうち7,980人が3回目接種を完了しており、率にして36.2%と高水準で推移をしています。医療機関並びに市民の皆さんの御理解御協力を改めて感謝を申し上げるところでございます。

市民の命を守る取組を最優先としつつも、コロナ禍を機に、業務や市民サービスに「オンライン、非接触化」を求められるなど大きな変化に対応する政策も引き続き進めてまいります。

また、昨年8月の豪雨災害からの復旧・復興と同時に、災害の教訓を生かした減災対策事業を当面の重点課題として位置づけて、取組を加速しなくてはなりません。

市長就任以来1期4年で、「50年に一度」がおおよその目安とされる「大雨特別警報」は毎年のように発令され、異常事態が「常態化」しつつあるこの現実がございます。

選挙でも公約に掲げた気候変動に対応した抜本的な治水対策、地滑り対策、最新技術を用いた浸水予測や被害情報の共有、アプリやケーブルテレビ網を活用した市民への避難情報発信をはじめ、ソフト・ハードの両面であらゆる英知を結集してまいります。

命を守るためにも、まちの飛躍のためにも、人づくりを中心に据えていく必要があります、それがこの嬉野市の伝統でもございます。とりわけ次世代を担う子どもたちは、まちの宝であります。

子どもたちが自身の夢をかなえることのできる力を授ける教育改革をはじめ、1期目に行った公園遊具の一斉更新に続き、公園の熱中症対策やトイレ改修も進めて、外遊び環境をさらに充実させてまいります。

また、女性活躍推進においても、女性のアイデアが生きるまちづくりミーティングや、女子野球をはじめとする女子スポーツの振興など、女性が訪れたい、住みたい、住み続けたいまちを目指す延長線上に、この持続可能な活気あるまちづくり構想を描いております。

アクティブシニアと呼ばれる元気な高齢者の活躍、健康長寿のまちづくりも積極的に仕掛けてまいります。

そして西九州新幹線が開業し、嬉野温泉駅が新設される本年令和4年、2022年という年は、

嬉野市にとって歴史に刻まれる瞬間でもあります。9月23日と、開業日の具体的な日程がJR九州より発表され、関係者の機運を高めていく上で大きな一歩を踏み出しました。

観光のおもてなし体制づくりをはじめ、移住・定住、企業立地など民間投資を呼び込む動きを積極的に仕掛けてまいります。ただし、新幹線開業は大きなチャンスである一方、バラ色の未来が約束されているというわけではありません。場当たりのなまちづくりでは地域を疲弊させ、人口減少を加速させる可能性もある諸刃の剣でもあるという認識が必要であります。

嬉野市では、鹿島市・太良町の有明海沿岸地域、武雄市・有田町との連携による観光誘客や、まちの魅力向上に努めてまいりましたが、この100年に一度の交通変革を機に、隣県も視野に入れた西九州地域の中心に位置する地の利を生かして嬉野市の存在感を高めてまいります。新たな価値創造を目指して、市民の皆様との連帯を深めていかななくてはなりません。改めて、「うれしいを、いっしょに」——。うれしいことをいっしょにつくっていきましょう。うれしいことをいっしょに分ち合っていきましょう。

それでは、続きまして政策の一端となります、今議会に提出をいたしました議案等につきまして、その概要を説明いたします。

今定例会に提出いたします案件は、報告1件、条例の制定1件、条例の一部改正4件、令和3年度の補正予算8件、令和4年度の当初予算5件、人事案件2件の全部で21件について、御審議をお願いするものでございます。

まず、条例の制定につきましては、議案第5号が、嬉野市道の駅等の設置及び管理に関する条例についてでございます。

嬉野温泉駅利用者の利便性向上のため、道の駅を設置し、市民と来訪者との交流促進、地域振興を図ることを目的としております。

次に、条例一部改正につきましては、議案第6号 嬉野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例についてでございます。

このたびの改正で、会計年度任用職員の育児休業の取得要件の緩和など、妊娠、出産、育児等と仕事の両立支援のための措置を講ずるための改正でございます。

議案第7号 嬉野市税条例の一部を改正する条例については、商品軽自動車の課税免除を適用するための改正でございます。

議案第8号 嬉野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例については、全世代対応型の社会保険制度を構築するための改正でございます。

議案第9号 嬉野市営住宅条例の一部を改正する条例については、民法の改正に伴い、扶養すべき成人年齢を20歳から18歳とする改正でございます。

続きまして、議案第10号から議案第17号までの8議案は、令和3年度の各会計の補正予算に関するもの、また、議案第18号から議案第22号までの5議案は、令和4年度一般会計をは

じめとした各特別会計及び公営企業会計の当初予算に関するものでございます。

まず、令和3年度の各会計の補正予算から御説明を申し上げます。

議案第10号 令和3年度嬉野市一般会計補正予算（第15号）について説明をいたします。

歳入歳出それぞれ3億2,514万9,000円を増額し、補正後の予算総額を225億2,210万1,000円とするものでございます。

今回の補正は、歳入については市税・各種交付金・地方交付税の決算見込みによる増が主なもので、歳出については新規事業として、産地生産基盤パワーアップ事業に9億870万円、宅地耐震化推進事業に550万円、また、ハウス団地基盤整備事業に1,410万円の増のほか、指定農道ふるさと農道整備事業に1,511万円の増、社会資本整備総合交付金事業の市道調査・改良事業として2,869万8,000円の増、道路メンテナンス事業の橋りょう補修整備事業として1,376万3,000円の増、などが主なものとなっております。

また、歳入歳出共に、各種の事務事業で確定した額への補正や年度末に不用額が見込まれるものの減額補正等を計上しております。

これらにより、財政調整積立金からの繰入れを4億4,714万8,000円減額するとともに、減債基金へ1億円、公共施設建設基金へ3億3,964万9,000円積み立てを行うことといたしております。

また、今年度中に終わることができない事業を翌年度へ繰り越すため、繰越明許費補正を計上しております。

議案第11号 令和3年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）については、今年度の国県補助金の交付見込額をはじめ、歳入歳出の決算見込みにより補正を行っております。

議案第12号 令和3年度嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）については、今年度の歳入歳出の決算見込みにより補正を行っております。

議案第13号 令和3年度嬉野市農業集落排水特別会計補正予算（第3号）については、農業集落排水施設維持管理適正化計画策定業務に762万3,000円を計上するとともに、今年度の歳入歳出の決算見込みにより補正するものです。

議案第14号 令和3年度嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計補正予算（第2号）及び、議案第15号「令和3年度嬉野市浄化槽特別会計補正予算（第2号）」については、今年度の歳入歳出の決算見込みにより補正をいたしております。

議案第16号 令和3年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第八土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）については、土地の売払い及び貸付け収入を計上し、それぞれ一般会計へ繰出しを行っております。

議案第17号 令和3年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第3号）については、今年度の歳入歳出の決算見込みにより補正をいたして



おります。

次に、各会計の当初予算を御説明申し上げます。

議案第18号 令和4年度嬉野市一般会計予算について御説明いたします。

予算の総額は、177億2,300万円となり、前年度当初より9億500万円の減、率で4.9%の減となっております。減額となった理由としては、1月末に市長選挙が控えていたため骨格予算としており、事業に関する予算を一部減額計上、また、今後の補正予算で計上予定としているためでございます。

ただし、新型コロナウイルス感染症対策に関する予算や、令和4年秋に開業予定となっている、これは9月23日に開業予定となっている嬉野温泉駅周辺整備に係る予算につきましては、遅滞なく事業を進めていく必要がございますので、当初予算から計上することといたしております。

それでは歳入から御説明をいたします。

まず市税については、昨年度新型コロナウイルス感染症の影響により景気の低迷を考慮して減額しておりましたが、予想よりも影響が少なかったため1億5,478万円の増を見込んでおり、全体としては前年度当初比6.7%の増収を見込んでおります。

また普通交付税は、合併算定額の特例が令和2年度で終了したため、令和3年度で減額を見込んでいましたが、国税の税収の伸びにより地方財政計画において増額が見込まれているため、7.5%の増を見込んでおります。そのため臨時財政対策債は、逆に79.1%の減を見込んでおります。また、嬉野温泉駅周辺整備などの国庫補助事業が令和3年度で終了したため、国庫支出金や市債などがそれぞれ減額となっております。

次に、歳出について説明をいたします。主な事業を申し上げます。

企画政策課では、地域おこし協力隊により、外部からの視点を取り入れた移住者目線での移住施策（お試し移住施設・お試しサテライトオフィス）を推進する事業、「移住促進事業」として人口増加を目的とした各種応援金を交付する事業等を行います。また、ふるさと応援寄附金については、受付業務・返礼品の費用などの経費と、基金への積立金を計上しております。なお、積み立てた基金は、翌年度寄附の目的に応じた事業の財源として活用させていただきます。

広報・広聴課では、シティプロモーションの取組として、連携協定締結企業等とのコラボ事業や著名人が出場するイベント等の誘致などにより、嬉野市を市内外・国内外に強力にPRし、交流人口の増加や市内経済の活性化を行ってまいります。

文化・スポーツ振興課では、令和6年に佐賀県内で開催される「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」に関連して、本市で開催される競技会の円滑な運営を期するための準備、機運醸成のための広報、周知などを行います。

福祉課では、市内の介護施設や障がい者施設の職員不足を解消するために、新たに就職し

た者に対して補助金を交付する事業で市外在住の方へも対象を広げ、安定したサービスを提供する体制づくりを目指します。

子育て未来課では、認定こども園の施設老朽化に伴い園舎建設に要する施設整備費用の一部を補助することにより、子どもを安心して育てることのできる環境づくりを行います。

健康づくり課では、新型コロナウイルスワクチン接種を行うための体制を整備し、医療機関への協力を得ながら追加接種等を行うことにより、低下した免疫を強くし、感染症の感染予防と重症化予防を行います。

農業政策課では、施設園芸農業の新規就農者が速やかに安定した営農形態を確立できるように、費用負担の軽減を目的として、引き続き市においてハウス団地としての整備を行ってまいります。

茶業振興課では、革新的技術の導入による収量・品質の向上及び省エネ・省力化技術の普及を進めるために、茶生産、加工施設・機械などの整備費補助として「さが園芸生産888億円推進事業」に積極的に取り組みます。

観光商工課では、「DESTINATIONキャンペーン事業」として、キャンペーン開催に向け民間企業と連携し、事業の効果を最大限に引き出すように努めます。

建設課では、市が管理する橋梁等について、長寿命化を図るため、引き続き定期的な点検を行うとともに補修工事を行ってまいります。

農林整備課では、令和2年度から実施しているふるさと農道整備事業として、引き続き指定農道五町田中村線の舗装工事を実施します。

新幹線・まちづくり課では、令和4年9月23日に開業予定の嬉野温泉駅の周辺整備の最終段階として、観光・交流施設外構及び高架下広場等の整備を行います。

教育総務課では、令和7年度に編纂を予定している嬉野市史について、編纂委員会及び編集委員会を定期的開催をしながら、令和4年度は主に調査・資料収集及び執筆作業を行うものとします。

学校教育課では教育委員会に不登校対応コーディネーターを配置し、教育相談関係職員と連携して自宅から適応指導教室、学校の別室、所属学級へつなぐ方法を学校に助言することにより、児童生徒の状況改善、保護者の心の安定、教職員への負担軽減につなげます。

以上申し上げました事業のほかにも、各種の事務事業に取り組み、市民生活の向上を図るべく努力してまいります。

続きまして、議案第19号から議案第21号の各特別会計予算について御説明を申し上げます。

まず、「国民健康保険特別会計」については、歳入歳出予算の総額は、35億7,378万6,000円で前年度当初予算から、1.1%の増となっております。新型コロナウイルス感染症による受診控えの状態から、受診状況が日常に戻りつつあるため、医療費の増を見込んでいるものです。

次に、「後期高齢者医療特別会計」については、歳入歳出総額は3億9,965万7,000円で前年度当初予算から、4.6%の増となっております。これも国民健康保険と同様でございます。

次に、「嬉野温泉駅周辺土地地区画整理事業費特別会計」については、歳入歳出総額2億1,965万8,000円で前年度当初予算から27.1%の減となっております。開業までに駅周辺整備等を行うために令和3年度に大幅に予算措置したため、4年度は最終的な整備費となっております。減額となっているものでございます。

なお、特別会計の「農業集落排水事業」と、「公共下水道事業費」、「浄化槽」の3会計につきましては、令和4年度から地方公営企業法の適用を受ける企業会計として「下水道事業」へ一本化されるため廃止、また、「嬉野第七土地地区画整理事業費」、「嬉野第八土地地区画整理事業費」につきましては、保留地処分金事業に係る起債償還が令和3年度に終了したため廃止をいたしております。

最後に、国のロードマップに基づき進めておりました下水道事業の地方公営企業会計への移行につきましては、令和4年度から「下水道事業会計」となり、市の会計予算とは別となりますが、引き続き下水道関連3事業を継続していくための予算を計上しております。

最後に諮問第1号及び諮問第2号の人事案件は、人権擁護委員に2名の方を推薦したいので、議会の意見を求めるものでございます。

以上で、本議会に提案いたしました議案につきまして、概要説明を終わりますが、各議案の詳細な内容につきましては、担当部長及び担当課長から説明をさせますので、何とぞ慎重な審議をお願い申し上げます。

なお、今会期中に人事案件の追加提案を予定しております。

さらに、国の第3次補正予算による地方創生臨時交付金の追加内示に係る事業につきましても、今会期中に追加提案を予定しており、あわせて骨格予算からの肉づけ予算につきましても、同時に増額提案をさせていただきたいと考えておりますので、あらかじめ御了承いただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、今議会では15名の議員より、一般質問をお受けいたしております。真摯にお答えいたしたいと存じますので、よろしくお願いを申し上げて、提案理由の説明とさせていただきます。

#### ○議長（辻 浩一君）

これで提案理由の説明を終わります。

お諮りいたします。

議案第5号から諮問第2号までの20件につきましては、委員会付託を省略したいと思いません。これに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議案第5号から諮問第2号までの20件につきましては、委

員会付託を省略することに決定をいたしました。

日程第24. 発議第1号 議会活性化特別委員会の設置及び付託について及び日程第25. 発議第2号 議会広報編集特別委員会の設置及び付託についての2件を一括議題といたします。

お諮りいたします。

ただいま一括議題とした発議第1号及び発議第2号につきましては、議員全員が提出者または賛成者です。よって、提案理由の説明、委員会付託、質疑、討論を省略したいと思います。これに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、発議第1号及び発議第2号の2件は提案理由の説明、委員会付託、質疑、討論を省略することに決定をいたしました。

発議第1号について採決をいたします。

発議第1号を原案のとおり決定することについて賛否の投票を求めます。それでは、投票をしてください。

〔押しボタン式投票〕

投票を締め切ります。全員賛成であります。したがって、発議第1号 議会活性化特別委員会の設置及び付託については可決をいたしました。

次に、発議第2号について採決をいたします。

発議第2号を原案のとおり決定することについて賛否の投票を求めます。それでは、投票をしてください。

〔押しボタン式投票〕

投票を締め切ります。全員賛成であります。したがって、発議第2号 議会広報編集特別委員会の設置及び付託については可決いたしました。

お諮りいたします。

ただいま議会活性化特別委員会、議会広報編集特別委員会が設置されました。それぞれの特別委員は、嬉野市議会委員会条例第8条第1項の規定により議長が指名をいたします。

なお、議席番号は省略いたします。

まず、議会活性化特別委員会の委員には、水山洋輔議員、古川英子議員、山口卓也議員、宮崎良平議員、増田朝子議員、芦塚典子議員、梶原睦也議員であります。

次に、議会広報編集特別委員会の委員には、大串友則議員、阿部愛子議員、諸上栄大議員、山口虎太郎議員、川内聖二議員、田中政司議員、諸井義人議員、以上であります。

これで特別委員の選任、指名を終わります。

ここで休憩をしたいと思います。この休憩中に、各特別委員会の委員は会議を開き、それぞれ正副委員長を互選してください。

それでは、休憩いたします。

午前10時31分 休憩

午前10時34分 再開

○議長（辻 浩一君）

再開します。

各特別委員会から正副委員長互選の結果が議長に報告されました。

議会活性化特別委員会委員長に増田朝子議員、副委員長に山口卓也議員、議会広報編集特別委員会委員長に諸上栄大議員、副委員長に山口虎太郎議員。

以上のとおり決定をいたしました。

日程第26. 嬉野市選挙管理委員及び補充員の選挙を行います。

お諮りいたします。

この選挙は指名推選の方法でいきたいと思えます。異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、選挙は地方自治法第118条第2項の議員に異議がないときは指名推選の方法を用いることができるとの規定により、指名推選で行います。

お諮りいたします。

議長が指名することにしたいと思えます。異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議長が指名することに決定をいたしました。

地方自治第181条第2項及び第182条第2項の規定により、それぞれ4名です。

嬉野市選挙管理委員は、塩田町南下久間区、光武英文氏、嬉野町上岩屋区、白川健太郎氏、塩田町南上区、山下仁美氏、嬉野町下宿区、濱崎直樹氏を指名いたします。

次に、補充員は、塩田町牛坂区、中島憲郎氏、塩田町布手区、峰松美佐子氏、嬉野町式浪区、江口常雄氏、嬉野町内野山区、久保二三子氏を指名いたします。

なお、補充員の順位は指名の順序をもって順位といたします。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれで散会いたします。

午前10時37分 散会